

講座名	デートDV予防講座～若者たちの恋愛事情～
【趣旨】 平成 28 年度に行った市民意識調査で、「デートDV」に対する 30 歳代以上の認知度が低いという結果になりました。一方、DV被害に遭った時に、どこにも相談しなかった人の割合が 5 割程度あり、相談する場合も警察や公的機関ではなく、知人や家族に相談する人が多数であることが分かりました。そのため、保護者や子どもたちを支援する人が、デートDVに対する正しい知識を持っていなければ、2 次被害を広げる可能性があります。 講座を通して、若者の恋愛関係で起こっている問題を知り、暴力防止に向けた啓発や被害者支援につなげることを目的に開催しました。 【内容】 デートDVとは、結婚していない恋人間でおきるDVのことです。デートDVの被害経験は 6 ～7 人に 1 人と、決して一部の人の問題ではありません。上下関係がある間に暴力は発生するため、対等な関係性が大事です。 DVは必ずしも男性から女性へ起こるものではなく、女性から男性へ、男性同士、女性同士等、被害はいろいろです。周囲の思い込みから相談できない人もいます。 携帯電話やスマートフォンの普及で、時間や場所に関わらず、24 時間相手をコントロールしているという実態があります。コントロールされないためには、その状態がおかしいということに気づくことが大事です。予防教育を受けていることが重要となります。	
■講師 名嘉 知恵理 氏（更生保護法人がじゅまる沖縄 DV加害者更生相談室研究員） ■日時 8 月 3 日（木）19 時～20 時 30 分 ■対象 関心のある方 ■参加者 19 名 ■託児利用なし	
【参加者の感想】 ・中高生の SNS を使用したやりとりは、行き過ぎると危険になる。予防するには、事前にデートDVを理解することが重要！大人ももっと若者の現状を知るのはいいいきっかけになると思う。 ・デートDVは身近にある問題であり、予防教育がいかに大切であるかを改めて感じた。携帯もあまりに便利になりすぎ、「既読」ということも管理されているように感じることもある。正しい使い方を大人がしっかり示していき、これ以上被害者が増えないような社会になってほしいと思う。 ・思春期の恋愛事情という興味あるテーマでしたが、実際にラインでの細かいやりとりなどから現状や心理がわかりやすかったです。中 3 の子どもがいますが、つつい心配し過ぎたので、ホッと温かい言葉、態度で接することができるように心がけたいと思いました。ありがとうございました。 ・ラインの被害の実態を知り、納得できました。 ・自分の周りや知り合いにいそうな気がした。知り合いなどにいた場合は声をかけてみようと思う。	

